

## 第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月24日 (日) 10:30	
コート	Aコート	第2試合
カテゴリー	男子	準決勝
主審	原田 拓朗	
第1副審	岩尾 圭治	
第2副審	樋口 俊司	

TEAM A		TEAM B															
福岡第一 79	<table border="0" style="margin: auto;"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>27</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>11</td></tr> <tr><td>7</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	21	1st	13	27	2nd	12	24	3rd	11	7	4th	20	OT			56 延岡学園
21	1st	13															
27	2nd	12															
24	3rd	11															
7	4th	20															
OT																	
福岡1位		宮崎1位															
○		●															

### 【BOXスコア】

TEAM A		福岡第一高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
1	當山 修梧	0					
8	河村 勇輝	◎ 8	1	1	3		
13	神田 壮一郎	○ 6	1	1	1	1	
23	齋藤 友紀	2		1			
27	松本 宗志	1			1		
31	ハーバージャン ローレンス ジュニア	11	2	2	1	1	
37	仲田 泰利	0					
40	三宅 翔りーディローチ	1			1	1	
44	内藤 凌太	2		1		4	
46	小川 麻斗	○ 11	1	4		1	
54	内尾 聡理	○ 14		5	4	1	
59	山田 真史	3	1			1	
60	クベマジョセフ スティーブ	○ 18	1	7	1	1	
63	井上 僚人	0				1	
65	キエキエトピー アリ	2			2	3	
コーチ	井手口 孝						
合計		79	7	22	14	15	

TEAM B		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中小路 優	2		1		2	
5	ポーグ 健	10		3	4	2	
6	前田 陽向	2		1			
7	諸石 雅也	○ 11	1	3	2	2	
8	山本 裕樹	4	1		1	2	
9	市川 廉太郎	○ 2		1		2	
10	高橋 寛太	0					
11	森下 瞬真	◎ 8	1	2	1	1	
12	片伯部 樂年	2			2	1	
13	水野 虎太郎	0					
14	伊東 和希	0					
15	MUYA KABANGU FRANCIS	○ 10		4	2	2	
16	眞喜志 梨生	0					
17	田中 虎太郎	0					
18	木下 岳人	○ 5		2	1	3	
コーチ	楠元 龍水						
合計		56	3	17	13	17	

### 【戦評】

全九州大会準決勝、福岡県1位福岡第一対宮崎県1位延岡学園の対戦、福岡第一のスターティングメンバーは、#8、#13、#46、#54、#60、延岡学園のスターティングメンバーは、#7、#9、#11、#15、#18で試合開始。第1Q、福岡第一は厳しいディフェンスから相手のミス誘い、スピードのある速攻を繰り返して主導権を握る。対する延岡学園は#15のゴール下、#11の3ポイントで追いつく。第1Q後半、福岡第一#60のフリースローを含む連続得点でリードを広げ21-13で第1Q終了。第2Q、延岡学園は#11のドライブなどで果敢に攻めるが、福岡第一の好ディフェンスに阻まれ得点に結びつかない。福岡第一はそれを早い展開で着実に得点につなげる。第2Q後半、途中交代で出場した延岡学園#5がゴール下で奮闘し4得点。#11も速攻のランニングシュートを決め喰らいつく。しかし、福岡第一がハイピックからのオフense、速攻をきっちり決め47-25で前半終了。第3Q、まずは福岡第一が#60のゴール下で先制。延岡学園は福岡第一の激しいインサイドの攻撃をしのぎながら#15のシュート、#8の3ポイントで応戦。第3Q後半、延岡学園はオールコートのマンツーマンをしかけプレッシャーをかけるが、福岡第一は落ち着いたプレーを展開。#13、#31、#59が3ポイントを決め引き離しにかかる。第3Qは71-36と福岡第一が大きくリードして終了。第4Q開始直後、延岡学園は厳しいディフェンスから流れをつかみ、#4、#7、#15の3人で4連続得点。ディフェンスにも力が入り最後まで諦めない姿勢を見せる。対する福岡第一は鋭いドライブでファウルを誘い、フリースロー等で着実に得点を積み重ねていく。最後は79-54で試合終了。福岡第一が安定した試合運びで決勝進出を果たした。

【戦評記者】 増永 洋祐  
福岡県バスケットボール協会